

著書紹介

著者自らが新刊を紹介します。



昭和遠近

短歌でたどる戦後の昭和

愛知淑徳大学・学長・島田修三

- ▶四六判 ▶225ページ▶風媒社
- ▶本体1,500円+税 ▶2022年10月10日発行
- ▶戦後昭和史を事件・世相・人物・商品等を詠んだ現代歌人の作品を題材として、同時代を生きた著者の視点から鑑賞したエッセイ。中日新聞・東京新聞に2021年1月から2023年1月まで毎週連載した。



デジタル時代のアーカイブ系譜学

創造表現学部・准教授・阿部卓也(共著)

- ▶四六判 ▶280ページ ▶みすず書房
- ▶本体4,200円+税 ▶2022年12月1日発行
- ▶デジタルアーカイブの定義の変遷から保存と活用の現状、博物館・図書館・文書館を貫く効用と課題、著作権問題など11人の論者を取録した論集。第7章「複製技術とアーカイブ：日本における文書複製・保存技術の歴史的系譜」を担当。



学生の心に火を灯す

早稲田大学平山郁夫記念
ボランティアセンター20年の挑戦

交流文化学部・准教授・二文字屋脩(共著)

- ▶A5判 ▶292ページ▶成文堂
- ▶本体3,500円+税 ▶2022年10月20日発行
- ▶早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)設立20周年を記念した成果。「誰かのためにになりたい」「世界をよくしたい」という学生の心に火を灯すボランティアや社会貢献活動への挑戦を、様々な教育実践から紹介。